



「奇跡の復興米」をルーツとする苗を植える児童＝8日、大阪府富田林市

奇跡の復興米 豊作願い

大槌
ゆかり 大阪の児童ら田植え

東日本大震災の津波に負けず、がれきの中で穂をつけた大槌町の「奇跡の復興米」をルーツとする苗の田植えが8日、大阪府富田林市で行われ、市立小5年の児童75人を含む関係者ら約100人が参加した。

2014年に遠野市のNPO法人「遠野まごころネット」が、奇跡の復興米からとれた種もみを支援のお礼として富田林市の市民団体に贈り、地元の農協が栽

培して増やしてきた。3回目の今年は、富田林市や周辺町村の田んぼ8カ所のほか、市内の市立小16校の5年生計約950人がバケツで育てる。収穫した

コメの一部は昨年同様、大槌町で学校給食に使ってもらうほか、今年4月に震度7の地震に見舞われた熊本県にも贈る。初めて田植えをした喜志小5年の野口咲妃さん(10)は「苗を植えていて倒れそうになり、泥に手をついたら気持ちよかった。お米がいっぱい取れるとうれしい」と話した。

※奇跡=きせき、復興米=ふっこうまい、大槌=おおつち、大阪=おおさか、大震災=だいしんさい、津波=つなみ、苗=なえ、富田林=とんだばやし、遠野=とおの、支援=しえん、農協=のうきょう、栽培=さいばい、同様=どうよう、震度=しんど、熊本=くまもと、喜志=きし、泥=どろ

①「奇跡の復興米」とは、どのようなお米ですか。

②大阪府富田林市の小学生が、大槌町の「奇跡の復興米」をルーツとする苗を使って、田植えができたのはどうしてでしょう。

③収穫したコメの一部を、震度7の地震に見舞われた熊本県にも贈る予定にしています。コメと一緒に添えるメッセージを考えてみましょう。

年 組 名前